

ぼくらの知らない 世界



# 戦争のしくみ



# 戦争の三大要素はこれだ



人類の歴史は「戦争の歴史」といえるほど、人々は戦い続けてきました。その原因は、国や民族、宗教間の争いとされています。しかし、それは本当でしょうか？ 実際に戦争を始めるには、大量の武器と軍隊、それらを集めるための莫大な軍資金が必要です。逆にお金がなければ、戦争は起こせないということです。



## なぜ戦争はなくならないのだろう？ ①

近年の戦争で、鍵を握っているのは莫大な財産を所有する欧洲貴族やロスチャイルド財閥・ロックフェラー財閥などの**資本家**や**国際銀行家**である。

# 戦争はボロ儲けできる！

国際銀行家は儲かる！



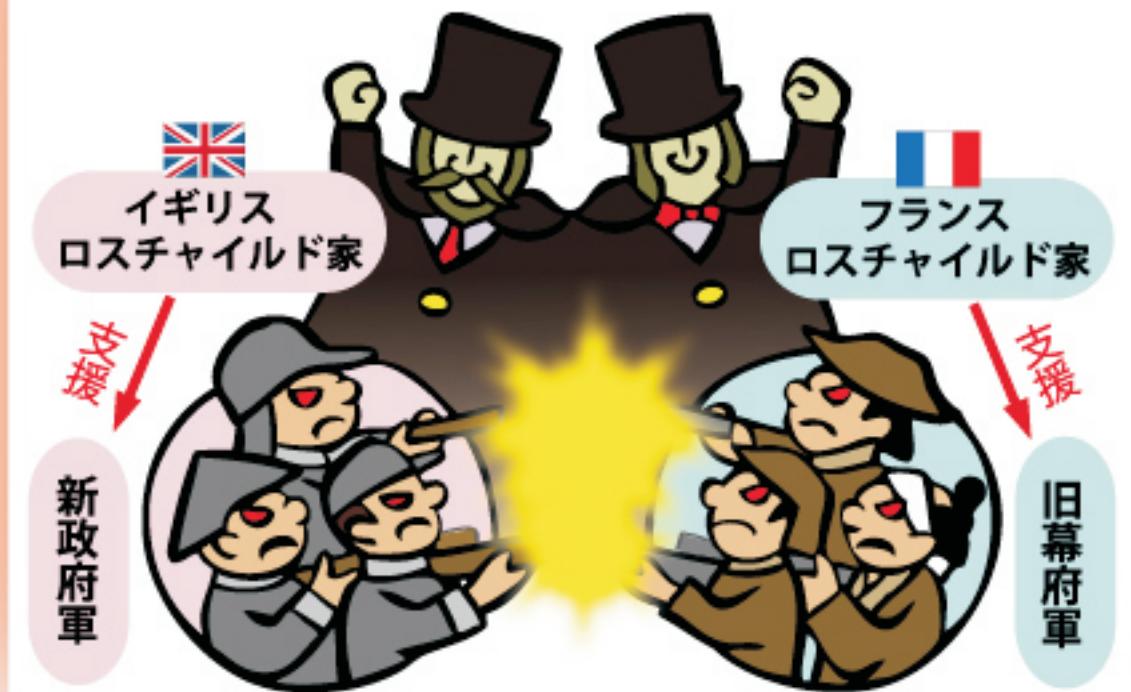
お金がないと起こせないのが戦争ですが、巨額の富を生むのも、また戦争です。武器、戦闘機、戦艦などを製造する軍需産業は莫大な利益を上げます。なかでも、戦争当事国に資金を貸付する国際銀行家は一番利益を得ます。スポンサーである彼らは政治家にも強い影響力を持つため、市民が望まない戦争が起きてしまうのです。



なぜ戦争はなくならないのだろう？ ②

世界有数の軍需産業を所有しているのは、**国際銀行家**。  
つまり、巨額のお金を、自らの所有する大企業、  
または傘下の企業に流し、戦争の利益を独占している！

## 日本の戦争の裏側～戊辰戦争の場合～



戊辰戦争では、明治新政府軍と旧幕府軍に分かれて、日本人同士が戦いました。両軍の背後にいたのは、国際銀行家でした。日露戦争でも、国際銀行家から融資を受けています。また、どちらの戦争においても、国際銀行家の傘下の兵器会社から武器を購入しています。戦争においては、国際銀行家だけが得をするのです。



### なぜ戦争はなくならないのだろう？ ③

日露戦争では、大国ロシアに勝利したにもかかわらず1円の賠償金ももらえなかった。逆に、戦争で発生した莫大な借金の返済に、日本国民が苦しむことになった。

# 第二次世界大戦の裏側

戦後、ナチスの科学者の多くは  
アメリカへ渡った



アメリカの有名企業も  
こぞってナチスを支援した

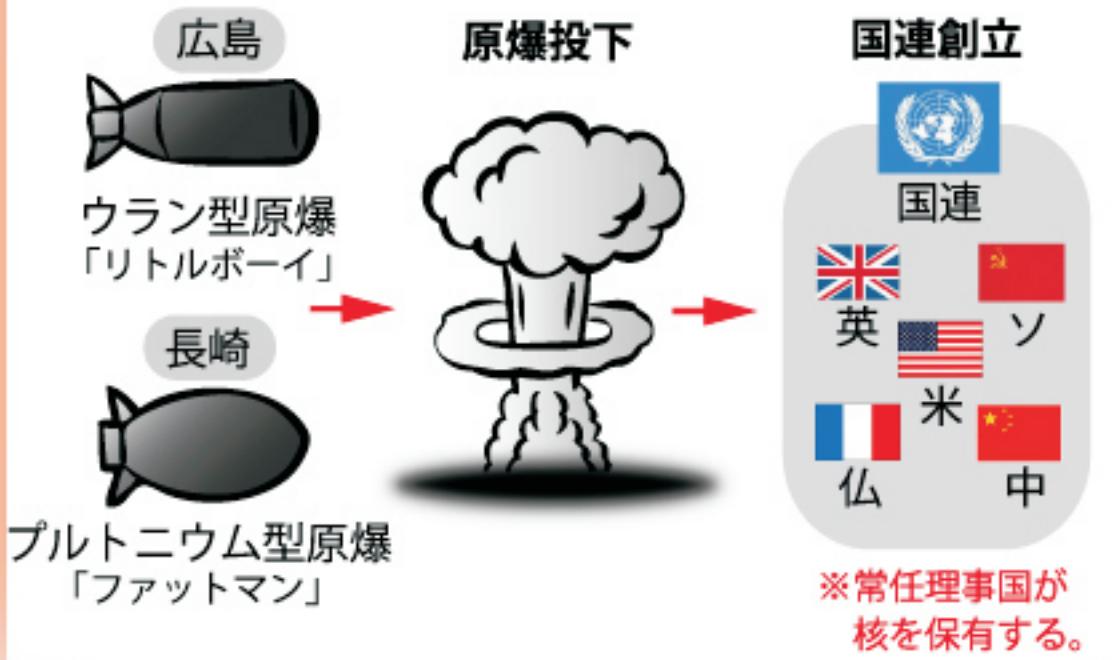
第一次大戦に敗北し、賠償金に苦しむドイツを復興させたのは、英米の国際銀行家の資金です。つまり、敵であるはずのナチスドイツを陰で支援し、第二次大戦を演出していました。投資家である国際銀行家にとって敵・味方の区別はありません。どちらが勝っても確実に儲かる戦争は、国際銀行家にとって最高にうま味のあるビジネスなのです。



なぜ戦争はなくならないのだろう？ ④

フッシュ元大統領の祖父、フレスコット・フッシュは、社長を務めるアメリカの銀行（ユニオン・バンキング・コーポレーション）から、ナチスに送金していた。

# 国連ができるまで



第二次大戦は1945年、広島・長崎への原爆投下を経て、終結しました。同年、戦勝国が中心となり、国際平和維持のため、国際連合が発足。しかし、原爆製造（マンハッタン計画）の資金提供も、国際連合の資金提供も、同じ国際銀行家の手によるものでした。原爆の製造、使用、そして規制まで、全てシナリオが用意されていたのです。



## なぜ戦争はなくならないのだろう？ ⑤

国連の制定した **NPT (核拡散防止条約)** は核軍縮を目的としながらも、常任理事国の核武装を正当化し、非常任理事国の核保有を牽制・非難するために機能している。

# 「眞の平和」を考える

戦争のない世界こそ、  
ぼくらが望む平和ではないか？



対テロ戦争って、  
平和のために戦争すること？

イランや北朝鮮などが国連で非難されています。その真意は、国連を支配する国際銀行家の方針に他なりません。いかなる高尚な理由であれ、戦争は単なる人殺しであり、国際銀行家のビジネス、または彼らの影響下にある政治家の経済政策にすぎません。太平洋戦争時、戦意高揚のため NHK ラジオ放送は 864 回の虚偽報道をしていました。過去の事例からみても、マスメディアの煽動にはのらないことです。また、マスメディアに出てこない「戦争を起こす人々」の存在を知ることから、眞の平和がみえてくるのではないでしょか。



## THINKER mini book シリーズ

1. ぼくらの知らない環境問題  
**「ケムトレイル」**
2. ぼくらの知らない薬害  
**「子宮頸がんワクチン」**
3. ぼくらの知らない社会  
**「お金のしくみ」**
4. ぼくらの知らない世界  
**「戦争のしくみ」**
5. ぼくらの知らない現実  
**「人口を減らすってホント？」**

大きな問題をまえに個人ができることは、  
ひとりでも多くの人に知ってもらうことです。  
「伝える」活動にご協力ください。そのツール  
として、この mini book をご利用ください。  
当サイトより無料ダウンロードできます。

すべての考える人々へ

<http://www.thinker-japan.com>